

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	腹腔鏡下幽門側胃切除術における B1 再建方法の違いによる術後経過に関する検討
	研究対象者	胃癌と診断された患者さんのうち、2017 年 5 月から 2022 年 5 月の間に神奈川県立がんセンターで腹腔鏡下幽門側胃切除治療を受けられた方
	研究目的	腹腔鏡下手術は胃癌手術において標準アプローチとなり、さらに完全鏡視下再建が普及してきています。腹腔鏡下幽門側胃切除(LDG)の Billroth-I 法(B1)再建において、心窩部小開腹創での自動吻合器再建(Circ)と、完全鏡視下でのデルタ再建(Delta)、両再建方法の術後経過や自覚症状についての検討について比較検討します。
	研究方法	対象症例 191 例(Circ100 例、Delta91 例) を Circ と Delta にわけて、患者背景・手術成績・術後合併症・1 年後自覚所見を後方視的に比較検討します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます。
	研究期間	西暦 2023 年 6 月 19 日 ~ 西暦 2028 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 試料:	<input type="checkbox"/> 血漿、 <input type="checkbox"/> 血清、 <input type="checkbox"/> 全血、 <input type="checkbox"/> 末梢血から抽出した DNA、 <input type="checkbox"/> 病理検体(具体的に記載: _____)、 <input type="checkbox"/> 尿、 <input type="checkbox"/> 糞便、 <input type="checkbox"/> 唾液、 <input type="checkbox"/> 胸水、 <input type="checkbox"/> 腹水、 <input type="checkbox"/> 脳脊髄液、 <input type="checkbox"/> 毛髪、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報:	<input checked="" type="checkbox"/> 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 <input type="checkbox"/> 年齢、 <input type="checkbox"/> 性別、 <input checked="" type="checkbox"/> 既往歴、 <input checked="" type="checkbox"/> 併存疾患、 <input checked="" type="checkbox"/> 外来日・入院日・退院日、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査値、 <input type="checkbox"/> 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、 <input type="checkbox"/> 看護記録 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	消化器外科 山田 貴允
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター消化器外科 山田貴允 045(520)2222 利用停止のお申し出は 2023 年 7 月 31 日までお願いいたします	

以上